

様式10

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 269 号	氏名	湯浅 恭史
審査委員	主査 上月 康則 副査 武藤 裕則 副査 中野 晋		
学位論文題目			

地域中小企業の事業継続計画（BCP）の実効性を高めるための普及と実践に関する研究

審査結果の要旨

本論文は地域の中小企業を対象として、実効性の高い事業継続計画（BCP）を普及させる方法に関する実践的研究をまとめたものである。実効性の高いBCPとして4つのポイントを提示し、それらをBCPに活かす方法について、実践を通して提示することに成功している。はじめにこれまで各地で実施されている地域の中小企業のBCP及びBCMの支援状況を整理し、その上で申請者が実施した支援方策の有効性について述べている。次いでBCP・BCMの実効性を高める方法として申請者が考案した災害対応模擬演習について説明し、実践の中で得られた評価結果をまとめて、その模擬演習が有効であることを示した。これらの研究に加えて、台風災害で被災した事業所の災害対応、災害対応の中で見られた各事業所の代替戦略事例から、BCP・BCMの中で事前に代替戦略を検討し、対応しておくことの重要性を提示した。また、地域の建設業が進めている企業間連携の取組について参与観察を行い、災害対応力を向上する上で平時から同業他社間で協働活動を実施することの重要性を明らかにした。さらに鳴門市内にある製造業を中心として、行政、住民、学校が連携して地域継続に取り組み、地区防災計画の作成、合同避難訓練の実施等に指導的立場で参画し、主体ごとの個別BCPから地区全体のBCPへレベルアップさせる取り組みについても整理し、その中の課題や対応策についてまとめることに成功している。

以上、本研究は地域の中小企業の事業継続計画の実効性を高めるための手法の確立に成功しており、本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。